

# 4歳児 きく組

砂場の玩具で坂を作り、カップを転がす遊びを楽しんでいます。



これまでの経験から、「どうしたら速く転がるかな？」と考え、傾斜をつけたり、坂を長くしたりするために、玩具を積み上げる高さを変えたり、バランスを考えてつなげたりして試行錯誤していました。しばらく転がすことを楽しむと、「ここにトンネルを繋げようよ！」とアイデアを出し、子ども達で遊びを発展させていく姿も見られました。

子ども達は、身近な物を使って試したり、考えて作ったりすることを楽しみ、「あれ？何でだろう？」「わかった！」「上手いかないな…」「やった、できた！」という心を動かされる経験を通して、好奇心や探求心が育まれていきます。また、友達と一緒に試したり工夫したりする中で刺激を受け、自分だけでは気付かなかったことにも気付いていきます。